

学力調査の結果概要及び改善の方向等について

【小学校国語】

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「話すこと・聞くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「書くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「読むこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「言語事項」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「話すこと・聞くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「書くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「読むこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

いずれの領域においても、記述式の問題における無解答が全国平均より、やや多くなっている。

今回の調査における課題

相手や目的に応じて考えたことや意図が分かるように話すとともに、話し手の意図や内容を考えながら聞くこと。

文の構成や表現を確かめ、正しく推敲するとともに、書く目的や意図を明確にして、効果的に書くこと。

目的や意図に応じて情報を取り出したり、登場人物の心情や場面についての描写を叙述と関連づけて読むこと。

文脈に沿って漢字を適切に書いたり、活用したりすること。

改善の方向

相手や目的に応じて自分が考えたことや伝えたいことが分かるように組立を工夫して話すことと、話し手の意図をつかみながら聞くことを併せて行う指導の充実。

書く目的や意図を明確にし、文の構成を正しく理解できるようにするとともに、必要な情報を取り出し、条件に即して効果的に書く指導の充実。

目的に応じて情報を正しく取り出したり、叙述に即して、内容を的確に押さえながら読み取ったりする指導の充実。

漢字の意味の違いや使い方に着目して、文脈に沿って漢字を適切に使えるようにする指導の充実。

小学校
国語

分類	国語	平成19年度		平成20年度	
	区分	全国との比較 (A)	全国との比較 (B)	全国との比較 (A)	全国との比較 (B)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	書くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	読むこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	言語事項	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
問題形式	選択式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	短答式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	記述式		ほぼ同程度		ほぼ同程度

「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

【小学校算数】

小学校算数

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「数と計算」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「量と測定」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「図形」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「数量関係」の平均正答率
 ・ 全国平均を下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「数と計算」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「量と測定」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「図形」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「数量関係」の平均正答率
 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

小数や分数の乗法及び除法の計算の意味や計算の仕方などについて理解し、正しく計算することや、乗数(除数)と積(商)の大きさの関係について理解すること。

基本的な平面図形の面積を計算で求めたり、量の大きさの感覚を豊かにするなど、量の測定の仕方について理解を深め、確実に測定すること。

構成する要素に着目しながら図形を観察して的確にとらえること。

交換法則や結合法則、分配法則を活用するなど、計算の工夫について理解し、適切に用いることや、数量の関係を割合や式、グラフ等で簡潔に表したり、それを読んだりすること。

改善の方向

数直線や図を用いて、既習と関連付けながら、計算の意味や仕組みについて理解を深めるとともに、計算結果の見積りを生かしながら正しく計算することができるよう習熟を図る指導の充実。

算数的活動と、式や図、言葉を関連付けながら面積の求め方を考え、説明したり、測る対象の大きさに応じた測定方法を選択するなど、測定の仕方についての理解を深め、習熟する指導の充実。

ものの形について観察したり、構成したりする活動を通して、基本的な図形についての理解を深める指導の充実。

数を合成・分解するなど、多面的な数の見方を計算の工夫に生かす指導の充実や、数量の関係を割合や数直線、グラフ、式などに表すとともに、それらを相互に関連付けて数量の関係を読み取ったりする指導の充実。

分類	算数 区分	平成19年度		平成20年度	
		全国との比較 (A)	全国との比較 (B)	全国との比較 (A)	全国との比較 (B)
学習指導要領の領域	数と計算	下回っている	下回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	量と測定	下回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	図形	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	数量関係	ほぼ同程度	ほぼ同程度	下回っている	ほぼ同程度
問題形式	選択式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	短答式	下回っている	ほぼ同程度	下回っている	ほぼ同程度
	記述式		ほぼ同程度		ほぼ同程度

「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

【中学校国語】

中学校
国語

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「話すこと・聞くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「書くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「読むこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「言語事項」

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「書くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「読むこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「言語事項」

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

話の構成に注意しながら的確に聞き取ったり、調べたことを適切に生かしながら話したりすること。

資料に書かれている情報の中から、必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くこと。

表現に注意しながら文章を読んだり、論理の展開の仕方に即して内容を読み取ったりすること。

文章に表れているものの見方や考え方について、四字熟語を手がかりにして理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたりすること。

改善の方向

全体と部分、事実と意見との関係に注意して聞き取ったり、話合いの方向を適切に捉え、事前に調べたことを適切に生かしながら話したりする指導の充実。

様々な情報を吟味し、目的に応じて必要なものを選び出し、読み手に応じた文章を適切に書く指導の充実。

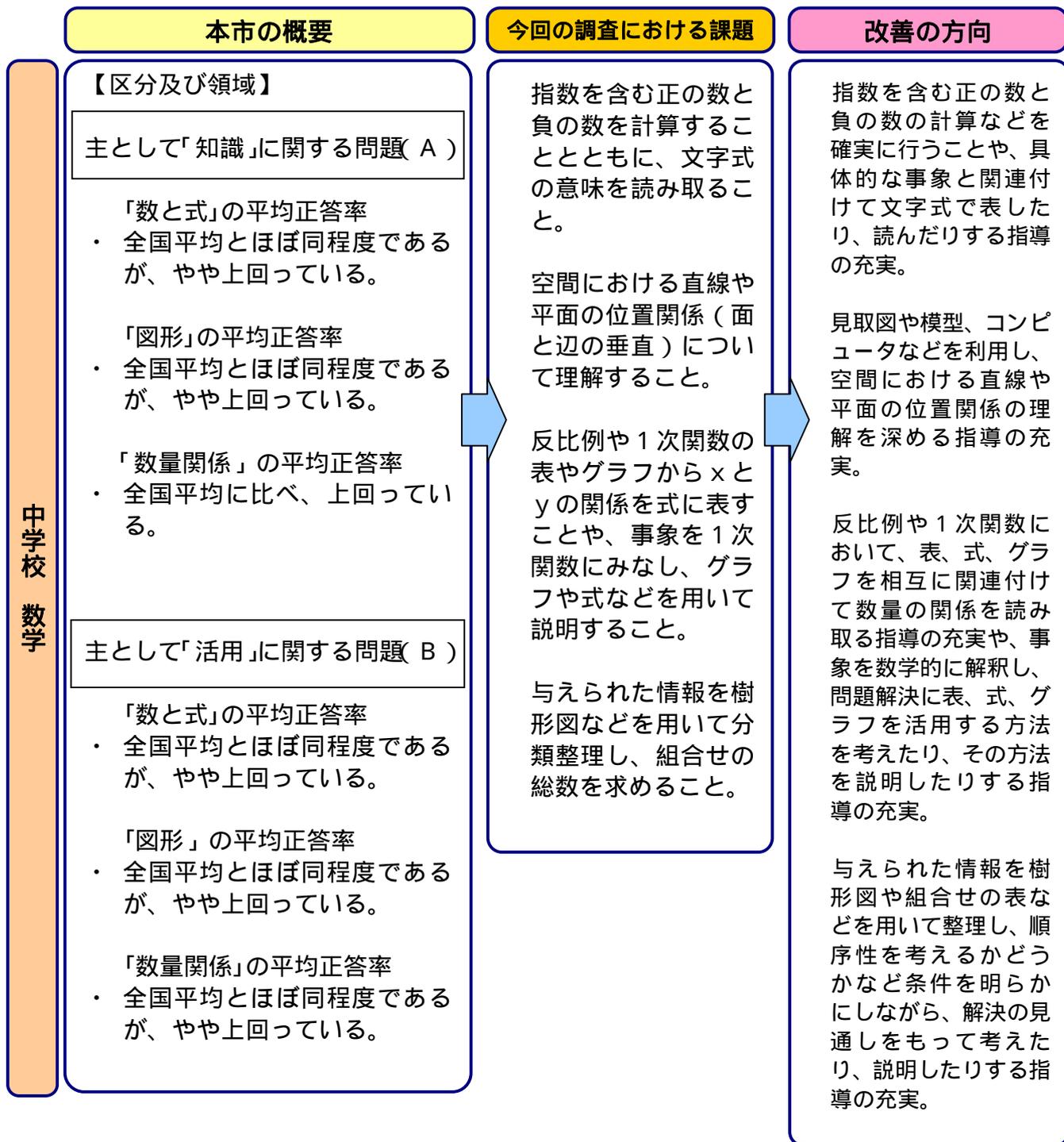
表現の仕方や文章の特徴に注意して読んだり、文章の展開を押さえながら、中心的な内容を適切に読み取ったりする指導の充実。

慣用句や多義的な意味を表す語句の意味や用法について理解を深めたり、文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりする指導の充実。

分類	国語 区分	平成19年度		平成20年度	
		全国との比較 (A)	全国との比較 (B)	全国との比較 (A)	全国との比較 (B)
学習指導要 領の領域	話すこと・聞くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	／
	書くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	読むこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	言語事項	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
問題形式	選択式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	短答式	ほぼ同程度	上回っている	ほぼ同程度	／
	記述式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	／	ほぼ同程度

「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

【中学校数学】



中学校 数学

分類	数学 区分	平成19年度		平成20年度	
		全国との比較 (A)	全国との比較 (B)	全国との比較 (A)	全国との比較 (B)
学習指導要領の領域	数と式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	図形	ほぼ同程度	上回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	数量関係	ほぼ同程度	ほぼ同程度	上回っている	ほぼ同程度
問題形式	選択式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	短答式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	記述式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度

「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。